

授業科目(ナンバリング)	アカデミックジャパニーズ IB (CA102)			担当教員	山内 美穂		
展開方法	演習	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本演習は、大学における講義を支障なく吸収するようになることを目的としている。日本語での授業を聞き取ることには相当の訓練が必要である。日本語に接触する機会が少なかった留学生にとっては、突然全面的に展開される日本語の授業は、聞き取りにくいものであろう。そこで、本講義では、聞き取りを中心にし、専門用語の解説も加えた漢字学習を繰り返すことにより、専門科目への適応を容易とするよう促す。また、テキストやプリントの音読を繰り返すことにより、日本語に慣れ親しむことも肝要である。							②③
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力	語彙や日本語文法を正確に理解している。 すすんで、テキストやプリントを正確に読むことができる。				小テスト 漢字テスト 音読み	10% 15% 15%	
コミュニケーション力	正確に聞き取ることができる。 自分の意見を日本語で表現できる。				聴解テスト レポート	30% 30%	
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
毎回の小テスト・漢字テスト・音読み・聴解テストでそれぞれ、10%・15%・15%・30%、最終レポート 30%で評価する。テストやレポートは採点して渡し、授業中に補足説明する。							
授業の概要							
ことばは意識や認識の形成にとって不可欠の要素であり、ことばの使用の如何によって伝えるべき情報や受け取る情報が確定される。その情報に対する判断が意識や認識の基となる。日本語による意識や認識の基を作る。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。							
教科書・参考書							
教科書：『みんなの日本語初級Ⅱ』スリーエーネットワーク 参考書：『みんなの日本語初級Ⅱ 翻訳・文法解説各国語版』スリーエーネットワーク 指定図書：「朝日新聞」DIGITAL							
授業外における学修及び学生に期待すること							
自分の日本語力を鍛えたいと考える履修者の参加を望む。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習 ・ 宿 題
1	導入	教室用語の確認と自己紹介	教室用語の確認(復習)
2	意志表現	V1 辞書形/V1 ない形+ように+V2	V1/V2 動詞の抽出(予習)
3	例示表現	「という」表現を学ぶ。	配布プリントをする(宿題)
4	変化を表す表現①	可能動詞(辞書形)+「ようになります」「ようになる」を使えるようになる。	用例収集(予習)
5	変化を表す表現②	無意志動詞は「ようになる」で使われるが、意志動詞は「ようにする」で使われることを理解する。	用例の作成(復習)
6	依頼表現①	直接的な依頼表現「てください」を練習する。	スキットを作成する(予習)
7	依頼表現②	間接的で丁寧な依頼表現「ようにしてください」を理解する。	例文を覚える(復習)
8	受け身表現①	Ⅱ・Ⅲグループの動詞で受け身文をつくる。	文を5つ作る(予習)
9	受け身表現②	Ⅰグループの動詞で受け身文をつくる。	配布プリントをする(宿題)
10	受け身表現③	日本語に特徴的な「迷惑受け身」について学ぶ。	課題レポート①作成
11	動詞の名詞化	「の」や「こと」をつけて動詞を名詞化する。	用例を10作成(復習)
12	原因・理由の表現①	「て/で」「くて」「ので」「から」の使い分けを学ぶ。	5つずつ用例を作る(予習)
13	原因・理由の表現②	主観的か客観的かという観点から考えてみる。	「ので」「から」の文を作成
14	原因・理由の表現③	「イ形容詞くて・ナ形容詞で+可能動詞否定形を学ぶ。	用例文を作成する(復習)
15	目的・用途の表現	「～ために、～」「～〈の〉に、～」表現を学ぶ。	用例を収集する(予習)
16	評価・所要時間の表現	「〈数量詞〉は/も」表現を学ぶ。	用例を収集する(予習)
17	推量の表現	視覚情報を基にした推量表現を学ぶ。	宿題プリントをする
18	継起表現	「てくる」の3用法について学ぶ。	宿題プリントをする
19	形容詞の副詞化	イ形容詞→「い」をとって「く」+V ナ形容詞→「な」をとって「に」+V	例文を覚える(復習)
20	場合の表現	ある事態を想定し、その対処の仕方を述べる。	課題レポート②の作成
21	意外・不満の表現	「のに」の接続形式を学び、不満や残念の気持ちを表す。	用例文を作成する(復習)
22	時の表現①	「ところです」は、空間的場所を示す「ところ」ではなく、時間的位置を示すことを学ぶ。	時を表す図を作成(復習)
23	時の表現②	動作が終了して時間がたっていないことを表す表現	「たばかり」の例文作成
24	確信表現	「V 辞書形・V ない形・イ形容詞・ナ形容詞・N の+はずだ」という表現について学ぶ。	用例収集(復習)
25	伝聞表現	第三者からの情報をそのまま伝える表現を学ぶ。	用例収集(復習)
26	推定表現	自分の五感を通して総合的に判断する表現を学ぶ。	用例収集(復習)
27	尊敬表現	「上・下」「親・疎」の人間関係に基づく表現を学ぶ。	宿題プリントをする
28	謙譲表現	「上・下」「親・疎」の人間関係による謙譲表現を学ぶ。	宿題プリントをする
29	聞く	200字程度のディクテーション・丁寧表現の理解。	聞き取りテストの見直し
30	まとめ	日本での生活を振り返る。	